

＜目次＞ [青い封筒募金キャンペーン 2022](#) / [「漢字を学ぶ」講演会](#) / [同窓生オンライン座談会が開催されました!](#) / [次期学年代表の募集](#) / [歯の博物館をご存じですか？](#) / [委員長からの報告](#)

- 本校事務局への小切手の送付
(Washington Japanese Language School, P.O. Box 71, Garrett Park, MD 20896)
- 本校ウェブサイトの寄付ページ (<https://www.wjls.org/giving-to-wjls/>) から、クレジットカードまたは PayPal にて
- 携帯電話の Venmo アプリから
- プレッジ方式：本校ウェブサイトから専用フォームを通じ、寄付額を事前申告。1月の授業料引き落としの際、事前申告いただいた寄付額を口座より引き落とし。

[https://www.wjls.org/wjls2/files/temp/2022 blue envelope2.pdf](https://www.wjls.org/wjls2/files/temp/2022%20blue%20envelope2.pdf)



キャンペーン終了後には、参加者を対象にラッフルを開催します。今年のラッフルは対面で開催する予定です。ラッフル景品は現時点で以下を考えています。

景品	抽選方法
・ポトマック川でのランチクルーズ（1 家族分を 1 枚） ・寿司 TARO のおせちギフト券（1 枚） ・寿司 TARO の飲食ギフト券（100 ドルを 2 枚）	20 ドルを 1 チケットとし、寄付金額に応じてチケットを割当て（例：100 ドル寄付した方はチケット 5 枚）
・WJLS ロゴ T シャツ ・WJLS マグカップ ・WJLS トートバッグ ・図書館から選ぶ古本 5 冊、等	寄付金額にかかわらず 1 人につきチケット 1 枚



また寄付してくださった方には、代々続いてきた日本語学校オリジナルの干支バッジをラッフル会場で差し上げます！できるだけ多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。



ジョージタウン大学 森美子先生による「漢字を学ぶ」講演会（教育人事部）

漢字学習で困っていませんか？全米日本語教師会次期会長に選出された、漢字研究の第一人者である森美子先生に、アメリカで漢字を学ぶことや漢字を学ぶ環境作りについてご講演いただきます。漢字への理解を深め、お子様の家庭学習に活かす絶好の機会です。講演に先立ち、午後 1 時から「保護者交流カフェ（懇談会）」を開催します。保護者の皆様のネットワーク作りと情報交換にぜひご利用ください。

日時： 12 月 17 日（土）午後 1 時 30 分～3 時（午後 1 時から 30 分間、保護者交流カフェを開催）

場所： 小ホール（1F）

内容： 米国で育つ子ども達にとって、漢字を学ぶとはどういうことなのでしょう。日本語で読むということとは、他の言語で読むのとどう違うのでしょうか。家庭と補習校以外では日本語を使う機会の少ない子ども達が漢字を楽しく学べる環境を作るにはどうしたらいいのでしょうか。米国で育つ子どもの漢字学習について、事例を挙げながら皆様と考えていきたいと思ひます。

～講師のご紹介～

森 美子（もり よしこ）先生

< 現職 >

ジョージタウン大学東アジア言語文化学部准教授、日本語プログラム主任

ご専門は、心理学的見地から見た第二言語習得。日米合わせて 30 年以上言語教育に携わる。

Foreign Language Annals 編集委員（2017-present）、

全米日本語教師会副会長（2016-2017）、中部大西洋岸日本語教師会共同会長（2020-2021）、

全米日本語教師会次期会長（2022-2024）。



< 著書 >

『読んで考える日本語 10 のトピック中上級』（くろしお出版 2022）

『親と子をつなぐ継承語教育--日本・外国にルーツを持つ持つ子ども--』（共著、くろしお出版 2019）

『アメリカで育つ日本の子どもたち--バイリンガルの光と影--』（共著、明石書店 2008）等、多数。

同窓生オンライン座談会が開催されました！（広報部）

11月5日（土）にワシントン日本語学校の5名の同窓生が集い、座談会が開催されました。同窓生パネリストは遠藤かれんさん（上智大学看護学科2年生）、川村麻里子さん（名古屋大学医学部准教授）、スチュアート・モーガンさん（Arthrex Japan 社デジタルマーケティングスペシャリスト）、水野雄太さん（Amazon Japan 法務部弁護士）、ミトリック麗奈さん（メリーランド大学機械工学部4年生）と多様なバックグラウンドを持つ方々で、ざっくばらんに語り合う楽しい夜となりました。



座談会では日本語学校での思い出や今でも続く交友関係のほか、やっておけばよかったと後悔していることについてもお話をしてくださいました。日本語学校に在籍した学年はバラバラだった同窓生パネリストたちですが、本校での経験が様々な形で現在の仕事や学業に役立っているというお話は興味深いものでした。

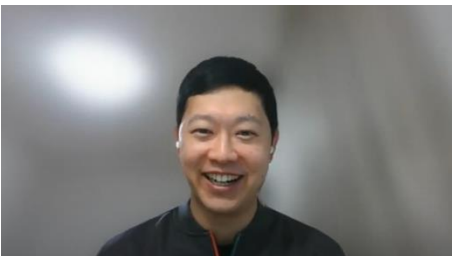
日本語学校での経験やアメリカでの生活が役に立っていることは？

川村：日本の大学で教職に就く中でも扱う論文は英語という場合が多々あるので、皆さんが思っている以上に英語ができることは大事。期限付きで渡米している場合でも英語の勉強は頑張ったほうがいい。

スチュアート：英語と日本語を同じレベルで使えるのは大きい。仕事では日本語も英語も使うが、職場にバイリンガルの人はいても、どちらかの言語に偏っていることが多い。日本語学校のおかげで日本語力を維持できたと思う。



日本語学校を通じてできた幅広い
人脈は財産だと語る川村さん



水野さんは日米両方の教育を経験し
贅沢な小学校生活だったと振り返る

水野：日本語と英語を使えることで競争社会において独自の立ち位置を築ける。弁護士として英語ネイティブとも違う立場で日系企業と仕事ができる。小さい頃に日本語学校と現地校に通った経験がなければ今の自分はない。

遠藤：日本の大学受験の際に日本語学校での小論文の授業が役立った。帰国子女枠での大学受験では、試験項目で小論文が必要になることが多い。日本語学校で大学受験に関する情報収集もできた。

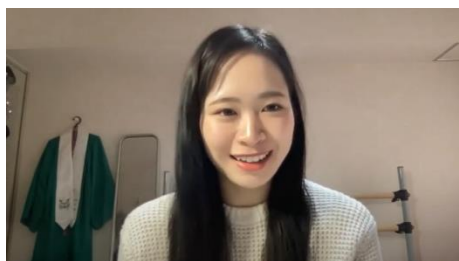
ミトリック：現在、東北大学に交換留学しているので、日本での生活全般や大学での勉強に役立っている。また、家庭教師のアルバイトをする際、「日本語と英語の両言語できる人に教えてもらうほうが安心」と言われたことがある。

在学時に保護者が担った役割について尋ねたところ、「毎週日本語学校への送迎をしてくれた」「日本語学校へ通うという決断そのものに感謝」「日本語学校に行ったことで自分の人生の基礎を築けた」と感謝の言葉が続出しました。そのほか、「家庭内でも敬語を用いながら正しい日本語を話すようにしてくれたことに感謝している」という声もありましたので、参考にしてはいかがでしょうか。成功を収めているように見えるパネリストたちでしたが、「英文の文法や書き方をもっとしっかり学ぶ方法があったのではないか」「日米やそのほかの地域での進学や就職など、多様な選択肢を考慮したらよかった」など後悔の念とともに振り返る一場面もありました。最後に在校生の皆さんにメッセージをいただきました。



両親の後押しのおかげで高校卒業まで続けられたと語るミトリックさん

在校生へのメッセージ



遠藤さんは大学受験の小論文対策として漢字ドリルにも取り組んだ

遠藤：日本語学校と現地校との両立は大変だと思うが、その経験があったからこそ今の自分がある。努力は必ず報われると信じて頑張してほしい。

川村：英語が話せるのは大きな武器。駐在の場合、最初は現地校で英語がわからない葛藤を感じるかもしれないが、それを乗り越えるとメンタルが鍛えられる。日本語学校で得られた繋がりも大事にしてもらいたい。

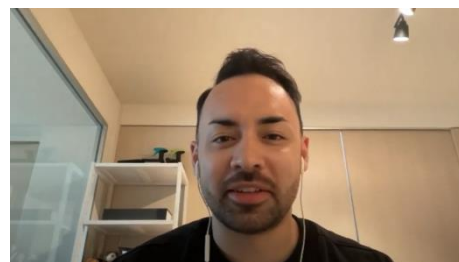
遠藤さんは大学受験の小論文対策として漢字ドリルにも取り組んだ

スチュアート：日本語力を維持するためにも、楽しみながら日本語学校に通

うのが成功の秘訣。クラスメートとは日本語で話すように心がけてほしい。

水野：日本では真のバイリンガルが不足している。両言語を話し、日米で生活した経験があるだけで貴重な人材となる。将来は日本での活躍も視野に入れた世界に羽ばたいてほしい。

ミトリック：大学に入ってから日本人のコミュニティを探し、その経験がなかったら日米学生協会の会長になることもなかった。コミュニティを大切にしてもらいたい。



日本語学校の友人と定期的に会っていると語るスチュアートさん

同窓生の卒業後の生活や振り返りを通して、日本語学校での勉強を乗り越えた暁に待っている将来に想いを馳せる良い機会となったのではないのでしょうか。本校ウェブサイトの[同窓生ページ](#)に座談会の動画がアップロードされていますので、ぜひご覧ください。講演会后、管理運営委員会に届いた感想の一部をご紹介します。

卒業後も日本語学校の生徒同士のつながりを大切にされていることが心に残った。(保護者)

バイリンガルになるためには努力が必要で、親が選択肢を与えてサポートする大切さを実感した。(保護者)

日本には日本語と英語両方ネイティブレベルでできる人がそんなにいないということに驚いた。自分も将来は日米の架け橋になりたい。(高2生徒)



NFL Style Kids Cheer Dance 特別ワークショップ開催！

NFLワシントンコマンドーズのチアリーダーとして4年間活躍し、過去にワシントン日本語学校でもチア教室を開講していた講師によるスペシャルワークショップ。プロから対面でのレッスンを受けられる貴重なチャンス！

ダンスに興味があるお子様
体を動かすことが好きなお子様ぜひご参加ください！初心者の方も大歓迎です。

日時：1月7日（土）@Dance Loft 14th street

小学1～4年生 16：40～17：25

小学5年生以上 17：30～18：15

費用：20ドル

講師 Azusa

16'-20' NFLワシントン
レッドスキンズ（現コマンダーズ）チアリーダー



お申し込み方法

娘さんのお名前、年齢、ご希望のクラスを記載の上、
メールアドレス ya.cheerdanceclass@gmail.com にご連絡ください

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

次期学年代表立候補者募集（学年代表）

現職学年代表の任期満了に伴う次期（2023年4月から1年間）学年代表の立候補者の募集をいたしますので、奮ってご応募ください。

おまちしています

<募集人数> 中学年（現在小2～小4保護者）1名・高学年（現在小5～高1保護者）1名、合計2名

本校は、保護者から選ばれた19名の管理運営委員と校長先生から成る管理運営委員会によって運営されております。学年代表は管理運営委員の一員となり、学級代表との連絡・調整など、保護者と管理運営委員会の架け橋として、日本語学校の運営の一端を担っています。立候補締め切りは**2023年1月27日（金）**です。立候補される方は学年代表（gakunendaihyo@wjls.org）までメールでご連絡ください。

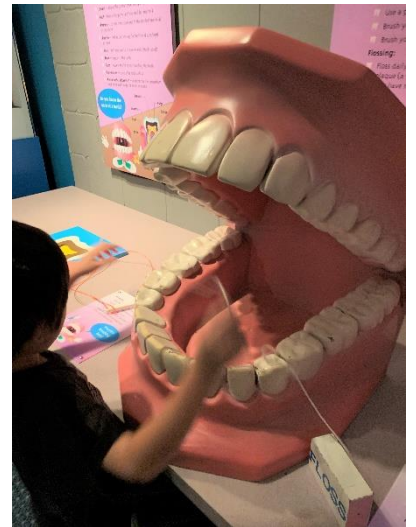
歯の博物館がワシントン DC 近郊にあるのをご存じですか？

あなたがもしも江戸時代に生きる日本人だったとして、虫歯になったらどうしていたと思いますか？仮に抜歯しか治療法がなかったとして、そのあと、どうやって食べていたと思いますか？

この想像をかきたてる問いに応えてくれる博物館が、なんとメリーランド州ボルチモア市にあります。国立歯科博物館では、アメリカだけでなく、世界の歯科や口腔衛生、麻酔の歴史についての展示をしています。さらに現在、日本の江戸時代の入れ歯などを特別展示中です。なぜ江戸時代の日本の入れ歯がこちらに展示されているかを考えただけでワクワクしてきませんか？

ー当たり前だと思っていた歯科の治療が、これほどの歴史があったことを知り、この時代に生まれて良かったと思いました。（高1生徒）

ージョージ・ワシントンの肖像画の変遷から、彼の歯の状態がわかるというのが面白かったです。（保護者）



2022年9月18日に高校1年生の有志とその家族で、この博物館のツアーを体験しました。頭部の骨と歯を見て何の動物の骨かを当てるクイズもあり、小さい子供から大人までが知的好奇心をくすぐられる内容でした。グループの場合、予約によりツアーの申し込みが可能です。ご家族でも、グループでも、冬休みのアクティビティにいかがでしょうか。

[National Museum of Dentistry](https://www.dentalmuseum.org/)

住所 31 S. Greene Street, Baltimore, MD 21201

開館時間：水曜日～金曜日 午前10時～午後4時

*12月24日（土）～1月2日（月）は休館

電話番号：410-706-0600

（事前に電話で開館の詳細をご確認ください）

委員長からの報告



Daylight Saving Time が終わり、日暮れが早くなって一気に冬が到来したなという感じですが、感謝祭の休日はいかがお過ごしだったでしょうか？久しぶりに授業のない土曜日をゆっくり過ごされたことと思います。個人的には、その後の Soccer World Cup の日本チームの戦いぶりやサポーターの「来た時よりも美しく」が大変印象的でした。感動をありがとう！

さて、12月3日に行われた第7回運営委員会では、神戸校長より校務報告、事務局より四半期経理、地域支援団体への年末のご挨拶や頂いたご寄付などの報告、そして、2023年度の授業日一覧や運動会等についての相談がありました。また、運営各部からは全校アンケートに向けての準備状況、12月17日の保護者向け講演会計画などの報告がありました。今後、学年末と新年度に向けての準備が本格化し、忙しくなっていきます。

運営委員会一同より：本年も大変お世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。2023年が皆様にとってより良い年になりますように。

アマゾン・スマイルをご利用ください

[アマゾン・スマイル](#)をご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の0.5%が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。



寄付にご協力ください！

Donate



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの[「寄付概要」ページ](#)にある左の画像をクリックしてください。



委員長： 辻川扶紀
副委員長： 小寺友美
総務部： 成田伸一郎（部長）・大杉真名美・瀬尾学・竹村聡子・松林拓磨
財務部： グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部： 大島由美子（部長）・塩崎桃子・善治聡人・平井真人・マッキソック美穂
広報部： 河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表： 松山徳子（低学年代表）・杉本純子（中学年代表）・田島美恵子（高学年代表）

